

令和8年度 第2回四街道市立八木原小学校 学校運営協議会 会議記録

- ・期 日 令和8年7月7日（火）
- ・時 間 9：30～11：00
- ・会 場 四街道市立八木原小学校 会議室

- 出席委員 12名
- 欠席委員 0名
- 傍聴者 0名

<会議内容>

司会進行 会長

- 1 日程説明（教頭）
- 2 会長挨拶（渡邊会長）
- 3 校長挨拶（谷口校長）
- 4 授業・施設見学等（9：40～10：00）
- 5 協議及び意見交換「教職員の任用について」

○学校の現状報告（教頭より）

- ・日本語指導について、市内他の学校と兼務している県費負担教職員がいる。市からは週2日程度、語学指導員の配置があるが、サバイバル期（初期）の児童のみが対象であるため、不十分である。
- ・少人数指導教員の配置—現在1年生週5日、2年生週2日、4年生週2日
- ・スクールカウンセラーの配置—月2回
- ・特別支援教育支援員の配置—3名おり、1日2名配置
- ・学校司書の配置—週2日
- ・スクールサポートスタッフ週3日

○意見交換

【少人数指導について】

高 木：どのような教科でどのように活用しているか

→教頭：主に算数で活用している 困っている児童のフォローをしている

→校長：八木原はT2としての役割 コース選択の問題や場所の確保から少人数に分けての学習はほとんどの単元で行っていない

渡 邊：どこに配置しているか

→校長：1・2・4学年に配置している 児童の実態や人数を加味して配置している

渡 邊：実態として足りないということだと思います 能力差に対応する教員を増やしてほしいですね

長谷川：裁縫などボランティア依頼があれば対応できることもある 時間割に合うように配置もできる 1か月前には依頼の連絡が欲しい

渡 邊：他の学校でもそのような取組をしているところがある。教職員の配置があるとよいが、足りない場合は活用するとよい

【スクールカウンセラーについて】

高 木：どのような相談をしているのか

→教頭：学力 人間関係 家庭での問題等様々である

渡 邊：子供の相談か保護者の相談か

→教頭：どちらも相談を受け付けている 親子でカウンセリングを受けることもある

【スクールサポート】

高 木：どのような方を雇っているのか

→教頭：市で雇用し、学校へ配置しているため、学校で人選することはできない

渡 邊：どのような仕事をしてくれるのか 子供との関わりはあるのか

→教頭：児童と直接関わる仕事はなく、事務仕事や作業などの面で、どの職員も助けられている

【語学指導員について】

長谷川：何語を話すことができるか

→教頭：ペルシャ語を話す指導員である 市内には中国語の指導員もいる

→校長：本校に在籍している外国籍児童はすべてペルシャ語を母語としている

長谷川：地区社協の日本語指導に来ている児童が、登下校の見守りの際に日本語であいさつをするようになった 地域でも声をかけていくことは必要である

渡 邊：外国籍児童の学級での困り感はあるか

→教頭：日常生活については問題ないが学習面での困りはある

→校長：小さい学年から入っている児童ほど順応している

鈴 木：中学校では外国語の平均点を押し上げているが、国語や算数はその逆である 一定数外国籍が集まると本人たちのコミュニティがあり、あまり困っていない 外国籍児童へ対応する教員が小さいうちから助けてくれるともっと伸びると思う 中学校でも指導員を必要としている

舟 竹：四街道は本当に外国籍が多い 児童は馴染むが 母親の社会進出はNGであるため、日本人との関わりは難しいだろう 学習に関して児童は吸収力が高い 母親は学校に通う児童生徒を通訳として様々な場面で活用している ペ

ルシャ語のサポートができる人は必要だ

小 出：運動会等の行事で、マナーを守らない保護者にPTA役員から注意をしたいが日本語が通じない。ペルシャ語の看板や翻訳した手紙での周知が必要である。語学指導員に手紙の内容を見てもらえないか

→校長：本来業務ではないが、相談はできる

清 水：ごみの出し方や違法駐車等についてペルシャ語に翻訳された文書を地域で作ったことがある

西 村：地区社協の日本語教室に学校の手紙を持って相談に来ることがあり、その都度手伝っている。日本人のお母さんの輪に入りたいとは思っていないと思われる。日本人が意思疎通を図ることは難しいだろう。日本の文化を学びたいという意識もあまり感じられない

小 出：PTA入会も今後減ることが予想される。行事に参加しない保護者もいる中、外国籍家庭は手伝い等を免除しているが手が足りないので、今後は免除としないことを考えていきたい

【特別支援教育支援員】

谷：通常学級に在籍している児童でも支援を要する児童が増えている。支援員の増員が必要

舟 竹：幼稚園でも支援を要する児童は増えているので、支援員の増員が必要である

(まとめ)

学力向上にむけて少人数指導教員の増員をしてほしい

学校や地域の実態から日本語指導をする指導員を増員してほしい

通常学級にいる特別な支援を要する児童への対応として支援員の増員をしてほしい

これらのことを要望していく

5 その他

- ・第3回学校運営協議会の開催について

令和8年12月3日(木) 9:30～11:00(予定)